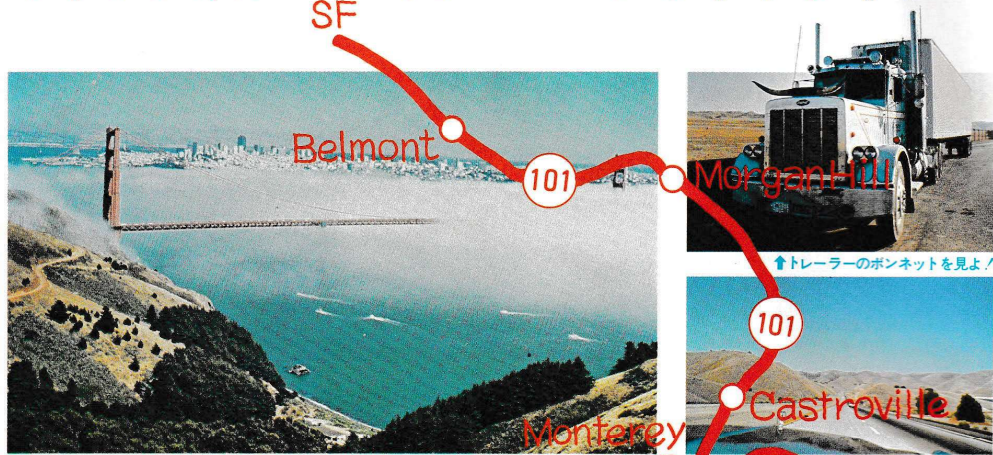


サンフランシスコのアップタウンからロサンジェルスまで8時間 カリフォルニア・スーパーシフトドライブ



「波止場に座ってる……船が出ていくのをながめている……朝日のときから夕陽がさすまで……」オーティス・レディングの名曲、ドック・オブ・ザ・ベイを聞きながらスーパーシフトをパワーにセッティング。坂道の多いサンフランシスコでもラクにクルマをコントロールできるからだ。1400cc82psのオリオン・エンジンが小気味よく吹き上がる。ヴァンネスAv. からフリーウェイ101へ合流。以前は制限速度が80マイルだったフリーウェイもオイル・ショック以来55マイルに押えられている。スーパーシフトをエコノミーにセッティングして55マイルで飛ばす。静かなエンジンだ。コンシールド・ドリップのおかげで風切り音もほとんどない。ミラージュの直進性は抜群。



↑長距離ドライブでは3時間に1度は休憩したい

これがミラージュのシート広さと厚みを見てほしい

フロントシートのスライド量は180mm
18段階に微調節できるシートバック。人間が最もラクに座れる角度にセットされている人間尊重設計のミラージュ。



ムダな突起のないフラッシュ・サーフェス・ボディ

航空機設計から生まれた空気力学における最新技術の結晶であるミラージュは、たんに美しくシャープであるばかりでなく、経済性、高速安定性、安全性、そして静粛性をも実現したのだ。

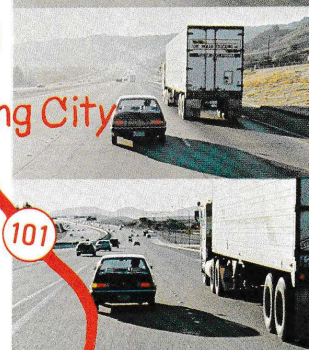


101号線は幹線道路なので大型トレーラーが多い。スーパーシフトをパワーへチェンジ。タコメーターが1000回転ほどアップ。加速感が増す。追いつきを終え走行車線に戻り、再びエコノミーレンジへ切替える。車線変更にはレーンチェンジャーを使ったが、これは安全で便利な装備だ。高級リゾート地、サンタバーバラでガスステーションに寄り、給油してもらう。ℓ/18km. たいした燃費のよさだ。



ミラージュは、ウエストコーストの風のように走る

ロサンジェルス名物のパーム・ツリーが見えてきた。ダウンタウンの灯がミラージュを歓迎するかのようにキラめいている。サンフランシスコから約8時間。だが疲れはない。シートはジャスト・フィットだし、スーパーシフトがこのドライブを楽しいものにしてくれたからだろう。



↑単調なフリーウェイをひたすら走る

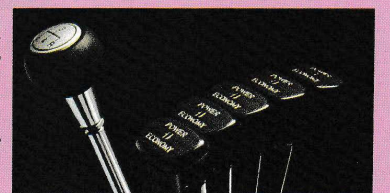


↑フリーウェイ101はサンフランシスコとロサンジェルスをつなぐウエストコーストを縦に走る大動脈だ

永年のクルマの夢をこの2本のレバーが解決した

パワフルでなければクルマとは言えない。エコノミーでなければ走る資格がない。このジレンマを解決したのがミラージュのスーパーシフトだ。つまりミラージュは「ギヤ比の小さなエコノミーレンジ」と「ギヤ比の大きなパワーレンジ」の二つを持っている。

る。操作は簡単にクラッチを踏んでエコノミーからパワーのどちらかへチェンジするだけ。ミラージュは、状況に合わせて最適なギヤ比を選択できる。



アクセルを踏めば車は動き出すと思っている人へ

安定走行、快適性を約束する4輪独立懸架。バンクの際もハンドルを取られないネガティブ・オフセット・ジオメトリー。燃料タンク、スペアタイヤのレイアウトに最適なユニークなU字型リヤ・サスペンション。正対姿勢で運転できる、適正なペダル配置。GLX、GLSはスチールラジアル装置。ミラージュは現代を走る未来カー。



↓フリーウェイジャングルから下りてサンセットに向かう。ビルボードとパーム・ツリーが歓迎してくれる

